

仏壇のシメノ (岸和田)

仏壇のシメノが品質表示を始めたのは、すでに三十年以上も前のこと。産地の違いを含めて、お仏壇の情報をしっかりと伝えてきた。仏壇公正競争規約とそれに拠る表示をシメノは実施している

が、多くの仏壇には「制作技術者名として」が表記されているというハイレベルなもので、お客様の信頼感と納得感を生み出す表示内容だ。今回の取材は岸和田本店にお伺いしたが、岸和田

本店の二階にはシメノオリジナルの輪島塗り仏壇、唐木仏壇では練り仏壇が中心に展示されており、その内容は充実したものだ。

輪島塗り仏壇はその名前の通り石川県輪島市で三十年前には仏壇のシメノは輪島に外注先工場を持ち、二十年前にはその外注先工場はシメノの工場となると同時に職人はシメノの社員となった。

輪島塗り仏壇を説明する野淳一社長の説明には「一辺地」など、漆芸の専門用語が次々と登場する。つまり、工芸としてレベルの高い仏壇作りを目指しているということだ。輪島塗り仏壇の下地は輪島の地粉と漆を混ぜ合わせた堅地で研磨を繰り返して、仕上げは蝋色

だ。金仏壇は、輪島塗り仏壇、伝統工芸仏壇がメインの展示であり、金仏壇品質表示では仏壇公正競争規約に拠る表示に加えて「木地」「下地」「塗り」「金箔粉」についての解説も行われる。木地では檜・松・杉などの天然木、MDF、合板使用についても書かれており、下地では低の粉・胡粉での下地、地粉漆での下地という区分の説明が行われる。塗りではカシュー、ウレタン(合成漆)の吹き付け、天然漆ハケ塗り、最上品

でのロイロ仕上げの区分説明、金箔粉では本金箔・本金粉(純度94%以上)使用と合成塗料(金色塗料)の区分が明記されていることを説明する。さらに木地、下地、塗り、蝋色、彩色、蒔絵、組立の職人の名前を明記。製品の中には「粉加工」「摺り加工」に製作技術者名として「野淳一」と野社長が製作者であることを示すものもあり、商品全体に対しての信頼度をアップさせている。

唐木仏壇の表示では仏壇公正競争規約に拠る表示の他、材質・加工・素材について説明。材質では木目印刷を施したお仏壇と、唐木や国内銘木などを使用した仏壇があること、加工では素地への木目印刷製品、張り製品、練り製品の区分などを説明。そして製作技術者名として木地・塗り、商品全体に対しての信頼度をアップさせている。

唐木仏壇の表示では仏壇公正競争規約に拠る表示の他、材質・加工・素材について説明。材質では木目印刷を施したお仏壇と、唐木や国内銘木などを使用した仏壇があること、加工では素地への木目印刷製品、張り製品、練り製品の区分などを説明。そして製作技術者名として木地・塗り、商品全体に対しての信頼度をアップさせている。

名前を記す。そして金仏壇同様「国内加工表示証」を表示することで、より確かな製品情報をお客様に伝える努力を行い、製品によっては「徳島県唐木仏壇」の表示を行う。シメノの表示から伝わるのは、製造している仏壇に対しての自信とプライドだ。表示の理想形のひとつが、シメノにはある。



蒔絵意匠もハイレベルな輪島塗り仏壇



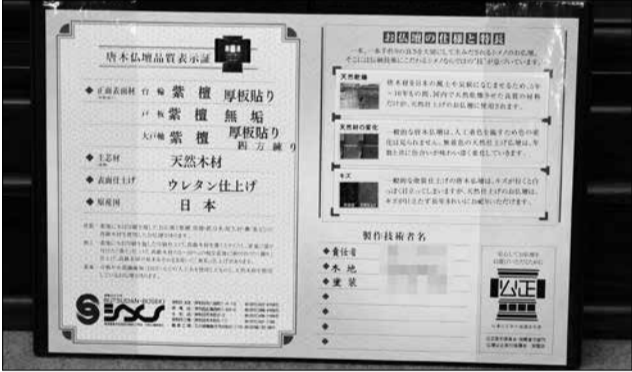
店内にずらりと展示されたシメノオリジナル輪島塗り仏壇。シメノ輪島工場の製品で、輪島塗の正式な工程を経て作られる



輪島塗り仏壇の品質表示
規約には表示義務のない下地は「漆下地(堅地)」
正面表面仕上げは「漆仕上げ(天然漆ロイロ仕上げ)」
製作者技術者名を明記する



金仏壇の品質表示
粉加工・摺り漆の製作技術者は野淳一社長



会員証書(左)と店頭ステッカー